

令和元年度  
事業報告及び決算報告書

公益財団法人千葉県下水道公社

目次

公益財団法人千葉県下水道公社の概要	1
令和元年度事業報告	
Ⅰ 事業概要	2
Ⅱ 事業別概要	3
公益目的事業	
1. 普及啓発事業	3
2. 管理事業	5
3. 建設事業	7
Ⅲ 庶務	
評議員会及び理事会の開催状況	8
役職員の状況	
役員一覧表	9
評議員一覧表	9
職員の状況	10
組織図	10
令和元年度決算報告	
貸借対照表	11
正味財産増減計算書	12
正味財産増減計算書内訳表	16
財務諸表に対する注記	19
附属明細書	21
財産目録	22

# 事業報告書

## 公益財団法人千葉県下水道公社の概要

下水道は市街地の雨水排除及び生活排水などの汚水処理により都市の生活環境を改善し、河川・湖沼等の水質を保全するために不可欠な施設です。しかしながら、下水道事業着手済の市町村では下水道施設の建設及び維持管理に要する経費の節減並びに技術職員の安定確保、また新たに下水道事業を着手する市町村では財政負担及び技術者の確保等が課題となっています。

このような状況から公益財団法人千葉県下水道公社は、下水道知識の普及啓発、下水道技術者の養成を行い、併せて下水道施設の管理、下水道事業に係る計画設計・建設工事の受託並びに財政援助を積極的に行い、千葉県の下水道整備の推進を図ることで、県民の生活環境の改善と河川、湖沼等の水質が保全されることを目的として設立されました。

### 【概要】

- |            |   |
|------------|---|
| 1 法人の名称    | 公益財団法人 千葉県下水道公社   |
| 2 設立年月日    | 平成4年3月25日<br>(平成25年4月1日 公益財団法人として名称変更及び移行登記)  |
| 3 事業所及び所在地 | 本社<br>総務部総務課・施設管理部管理課・建設部建設課<br>千葉県美浜区磯辺8-24-1<br><br>施設管理部<br>花見川処理場<br>千葉県美浜区磯辺8-24-1<br><br>花見川第二処理場<br>千葉県美浜区豊砂7<br><br>手賀沼処理場<br>我孫子市相島新田85-5<br><br>江戸川処理場<br>市川市福栄4-32-2 |
| 4 役職員及び評議員 | P9 参照   |
| 5 基本財産     | 3億6千7百万円<br>(千葉県：2億円 千葉県企業局 3千万円<br>県内54市町村：1億3千7百万円)   |
| 6 事業内容     | (1) 下水道知識の普及啓発<br>(2) 下水道技術の調査・研究<br>(3) 下水道技術者の養成<br>(4) 流域下水道施設の維持管理等及び修繕工事に係る設計・設計積算・施工監理・技術的支援<br>(5) 公共下水道施設の設計・設計積算・施工監理・建設工事・技術的支援                                       |

## 令和元年度事業報告

### I 事業概要

当社は、流域下水道の維持管理及び公共下水道に関する業務を行うほか、下水道知識の普及啓発活動、下水道の調査研究及びその成果の活用等を行い、千葉県及び市町村の下水道事業に協力し公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行った。

また、平成25年4月1日に公益財団法人へ移行し、新たな体制のもと、これまで培った知識や経験を活かし、公益性の高い法人として、より一層の適正かつ効率的な事業運営に役職員が丸となって努めた。

1 「経営計画（平成28～令和2年度）」に基づき、公共用水域の水質保全や循環型社会の構築などに努めるとともに下水道事業を総合的にサポートするために資質の向上に努め、目的達成を目指した。

#### 「経営理念」

- 1 県民の生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、適正な下水処理に努めます。
- 2 下水道の持つ資源やエネルギーを有効的に活用し、循環型社会構築のため、その一翼を担う会社を目指します。
- 3 下水道事業を総合的にサポートする公社として、さらなる技術力向上に努めます。
- 4 効率的な業務執行に努め、健全な公社運営を目指します。

2 「下水道の日」（9月10日）を中心に幹線道路に横断幕を設置し、地元紙へ寄稿するとともに広告を掲載し下水道についてのPRや理解を深めてもらう広報活動を行った。

3 下水道教室や親子下水道教室（施設見学会）等を開催し、実際に見て・触れることにより下水道の役割や仕組みを体験してもらう活動を行った。

4 下水道技術の向上を図るため、下水道技術全般に関する調査研究を行った。

5 千葉県や県内市町村の下水道に従事する職員を対象にした講習会を開催し、共通課題や情報交換等を行い、共通認識のもと適正な運転管理が行えるようにした。

6 千葉県から印旛沼、手賀沼、江戸川左岸流域流域下水道及び再生水利用下水道、下水処理水再利用の各施設の維持管理業務に係る履行監視業務等や修繕工事に係る設計積算業務、施工監理業務等を受託し、行い流入水を適正に処理し、公共用水域の水質保全と循環型社会の構築に寄与した。

7 千葉県及び県内市町村から公共下水道施設に係る設計業務、建設工事、施工監理業務を受託し、計画から整備を行った。

### II 事業別概要

#### 【普及啓発事業】

##### 1 下水道の日行事

「下水道の日」（9月10日）に合わせて、下水道に対する県民の理解と関心を深めることを目的に次の諸行事を行った。

- (1) 下水道推進標語入り横断幕を掲出した。（千葉県稲毛区六川交差点歩道橋他6か所）
- (2) 交通機関での下水道PRポスターを掲示した。（JR線他）
- (3) 県内市町村へ下水道PRポスター及び啓発品（エコスポンジ）を配布した。
- (4) 新聞、フリーペーパー及びラジオでPR広告・放送を行った。（千葉日報・bayfm他）
- (5) 集客施設最寄駅の大規模スクリーンでPR広告を行った。（海浜幕張駅前他2か所）
- (6) ホームページにより下水道の仕組みや役割、当社の事業などの情報を発信した。

##### 2 処理場見学

小学校、自治会や近隣の方々などの施設見学を受付けて下水処理場の説明用DVDの鑑賞後に施設の案内を行った。

処理場	月												小計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
花見川終末処理場	0	31	12	148	39	40	129	113	2	0	0	1	515
花見川第二終末処理場	12	152	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	165
手賀沼終末処理場 ※	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江戸川第二終末処理場	0	0	0	0	2	0	29	55	0	4	0	0	90
計	12	183	12	149	41	40	158	168	2	4	0	1	770

※ 見学受入休止中

##### 3 「出張下水道教室」の開催

職員が小学校へ出向き、下水道の仕組みなどを説明するとともに、実際に汚した水をきれいにする実験や微生物を観察する下水道教室を行った。

また、下水道の正しい使い方を説明して、水環境に負担をかけない生活を家族にも取り組んでもらうように説明した。

令和元年度	学校数	授業数	受講者
	15校	32授業	1,137人
累計	253校	487授業	17,853人

##### 4 「夏休み親子下水道教室（施設見学会）」の開催

夏休み期間中に終末処理場周辺に住む小学生とその保護者を招き、下水道の仕組みや役割を説明して施設の見学、水質浄化実験の実演、実際の微生物観察を行い下水道に関して理解してもらった。

開催日	開催場所	参加者
8月3日	花見川終末処理場	147人（59家族）

5 各種イベントでのブース出展

流域市町村などが主催する各イベントに出展し、会場で下水道に関するパネルを掲出し、説明に加えクイズに参加してもらい、下水道の正しい使い方などについてPRをした。

イベント名	会場	開催日	参加者
上下水道展	流山市生涯学習センター	6月2日	約 550人
印旛沼流域環境・体験フェア	佐倉ふるさと広場	10月26日	大雨の為中止
イベント参加者合計			約 550人

6 広報誌等の作成

- (1) パンフレット「下水道を学ぼう」の発行
- (2) 広報誌「きらら」の発行（53号）
- (3) 業務案内の発行
- (4) 下水道に関するパネル、ビデオテープ、DVD及び図書の貸出しを行った。

7 下水道技術の調査研究

- (1) 下水道に係る専門図書を収集した。
- (2) 共同研究として次の研究をそれぞれ実施している。

1	テーマ	鋼板製消化タンクを用いた中温消化技術の開発に関する研究
	実施目的	消化設備における工事期間の短縮、コスト縮減等を図るべく開発されている鋼板製消化タンクについて、さらに汚泥の堆積を低減する改良技術の実証実験を行い、維持管理性の向上、維持管理コストの縮減効果を検証する。
	実施期間	平成30年8月～令和3年3月
	実施場所	江戸川第二終末処理場
共同者		千葉県・当公社・日本下水道事業団・株式会社 石垣
2	テーマ	都市下水処理における有機物分解に要求する酸素量とその時間変化の調査に関する研究
	実施目的	下水処理場における有機物除去機構の詳細を明らかにし、現在のエアレーション及び汚泥滞留時間（SRT）などから活性汚泥の性能を技術的に示すことで、合理的な省エネルギー方策への情報提供を目的とする。
	実施期間	平成30年12月～令和2年12月
	実施場所	東京理科大学・江戸川第二終末処理場他
	共同者	千葉県・当公社・学校法人東京理科大学

- (3) 調査研究として次の研究を実施している。

テーマ	エネルギー消費量削減の検討
実施期間	令和元年9月～令和2年6月
実施場所	江戸川第二終末処理場
実施目的	エネルギー使用量の実態調査を実施し、既存設備の運用方法改善による消費エネルギー削減の検討を行い、温室効果ガス排出抑制やコスト縮減に応えるとともに得られた成果を情報提供する。

8 下水道技術者の養成

市町村及び県下水道担当職員を対象とする講習会を開催した。

開催日	令和2年1月31日（金）
テーマ	下水道施設の災害時支援について
講師	地方共同法人 日本下水道事業団 事業統括部 事業課 佐竹 裕也 氏
受講者数	76名
その他	当公社で調査研究として平成28年度から2ヶ年にわたり取り組んでいた「超省エネ型ハイブリッド下水処理システムの実証」の結果及び普及啓発で実施している「出張下水道教室」について、それぞれ報告を行った。

9 その他

下水道の仕組みを分かりやすくするための「啓発施設の整備」や県内市町村に対して災害が発生した際に必要な「資機材等の支援」、県内市町村職員に対する「研修参加支援」を特定費用準備資金としてそれぞれ積立てて活用している。

【管理事業】

1 印旛沼流域下水道施設管理受託

千葉県から千葉市、佐倉市他（計13市町）の印旛沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

2 手賀沼流域下水道施設管理受託

千葉県から松戸市、柏市他（計7市）の手賀沼流域の汚水を処理する流域下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

3 江戸川左岸流域下水道施設管理受託

千葉県から市川市、船橋市他（計8市）の江戸川左岸流域の汚水を処理する流域下水道施設及び江戸川第二終末処理場の覆蓋上部等に建設された「いこいの広場」の維持管理業務（市川市管理部分を除く）及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務、江戸川第一終末処理場の供用準備に係る業務を受託した。

4 再生水利用下水道施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を高度処理し、再利用水として幕張新都心の一部地区に供給する再生水利用下水道施設の維持管理に係る履行監視業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

5 下水処理水再利用施設管理受託

千葉県から、印旛沼流域下水道花見川終末処理場の二次処理水を幕張新都心地区において地域冷暖房システムの熱源として送水する下水処理水再利用施設の維持管理業務及び修繕工事に係る設計積算業務や施工監理業務を受託した。

6 花見川処理水再利用事業

幕張新都心地区において東京都サービス隊が行う地域冷暖房事業の熱源として花見川終末処理場の処理水を千葉県から承認された処理水利用権に基づき供給した。

流域下水道施設の概要

令和2年3月末現在

流域名	印旛沼 流域下水道		手賀沼 流域下水道	江戸川左岸 流域下水道
終末処理場	花見川 終末処理場	花見川第二 終末処理場	手賀沼 終末処理場	江戸川第二 終末処理場
供用開始	昭和49年4月	平成6年6月	昭和56年4月	昭和56年4月
処理面積	17,896ha		7,528ha	10,895ha
処理人口	1,307,449人		612,529人	1,192,142人
管渠延長	166.4km		88.3km	105.0km
中継ポンプ場	10か所 ※		1か所	3か所 ※
流入水量(年間)	98,994,318m <sup>3</sup>	57,568,699m <sup>3</sup>	81,833,983m <sup>3</sup>	139,617,330m <sup>3</sup>
同(日平均)	270,476m <sup>3</sup> /日	157,292m <sup>3</sup> /日	223,590m <sup>3</sup> /日	381,468m <sup>3</sup> /日
処理場面積	約21ha	約24ha	約40ha	約26ha
関連市町村	12市1町		7市	8市
	千葉市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、酒々井町		松戸市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市	市川市、船橋市、松戸市、野田市、柏市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市

※ 印旛沼・江戸川左岸連絡幹線のポンプ場2か所は重複している。(本北方ポンプ場・習志野ポンプ場)

施設名	再生水利用下水道施設	下水処理水再利用施設
供用開始	平成元年10月	平成3年10月
供給地域	幕張新都心地区 幕張海浜公園ほか7施設	幕張新都心地区 約48.9ha
供給水量(年間)	275,062m <sup>3</sup>	22,193,382m <sup>3</sup>
同(日平均)	752m <sup>3</sup>	60,638m <sup>3</sup>

【建設事業】

- 公共下水道設計業務受託(9団体)  
市川市、木更津市、茂原市、成田市、佐倉市、印西市、香取市、芝山町、長生村から幹線管渠等の実施設計業務を受託した。
- 公共下水道設計積算業務受託(4団体)  
木更津市、茂原市、東金市、長生村から公共下水道施設に係る設計積算業務を受託した。
- 公共下水道建設工事受託(13団体)  
千葉県、市川市、木更津市、成田市、佐倉市、東金市、浦安市、印西市、白井市、富里市、香取市、芝山町、君津富津広域下水道組合から幹線管渠及びポンプ場の建設工事を受託した。
- 公共下水道施工監理受託(3団体)  
木更津市、東金市、長生村から公共下水道施設の建設工事に係る施工監理を受託した。

### Ⅲ 庶 務

評議員会及び理事会の開催状況

令和元年度における評議員会及び理事会の開催状況は次のとおり。

#### 【評議員会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 (臨時)	平成31年4月1日 (決議の省略)	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社理事の選任について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社理事の選任について
第2回 (定時)	令和元年6月17日	議案第1号	平成30年度事業報告及び決算報告の承認について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社理事及び監事の選任について
		報告事項	平成30年度補正収支予算及び平成31年度事業計画及び収支予算について 事業追加の認定について

#### 【理事会】

回	開催（決議）年月日	決 定 事 項	
第1回 (臨時)	平成31年4月1日 (決議の省略)	議案第1号	業務執行理事を選定し、専務理事にすることについて
		議案第2号	業務執行理事を選定し、常務理事にすることについて
第2回 (臨時)	平成31年4月17日 (決議の省略)	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社常勤役員報酬月額 の決定について
第3回 (定時)	令和元年5月31日	議案第1号	平成30年度事業報告及び決算報告について
		議案第2号	令和元年度第2回評議員会及び付議する事項について
		報告事項	代表理事・業務執行理事の業務執行状況の報告について
第4回 (臨時)	令和2年1月16日 (決議の省略)	議案第1号	公益財団法人千葉県下水道公社職員給与支給規程の一部を改正する規程の制定について
		議案第2号	公益財団法人千葉県下水道公社の常勤役員報酬月額の改定について
第5回 (定時)	令和2年3月23日 (決議の省略※)	議案第1号	令和元年度補正収支予算（第1号）について
		議案第2号	令和2年度事業計画及び収支予算について
		報告事項	代表理事・業務執行理事の業務執行状況の報告について

※コロナウイルスの感染抑制のため決議の省略で対応

役職員の状況

#### 【評議員】

令和2年3月31日現在

役職名	氏 名	備 考
評議員	鈴木 徹	鈴木徹税理士事務所代表（国税庁出身）
評議員	太田 三郎	千葉商科大学商経学部名誉教授
評議員	武間 豊夫	元当公社理事長（千葉県出身）
評議員	生田 昌司	千葉県睦沢町代表監査委員（千葉県出身）

任期：4年（平成29年6月20日から令和3年6月開催の評議員会の終結の時まで）

#### 【役員】

令和2年3月31日現在

役職名	氏 名	備 考
理事長	行方 寛	常勤
専務理事	石橋 芳継	（総務部長事務取扱） 常勤
常務理事	高田 令子	常勤
理事	保坂 隆	千葉県県土整備部都市整備局長 非常勤
理事	中野 政夫	市川市水と緑の部長 非常勤
理事	渡邊 修一	茂原市都市建設部長 非常勤
理事	君島 昭一	柏市土木部長 非常勤
理事	新谷 等	八千代市上下水道局長 非常勤
理事	宮崎 利規	芝山町まちづくり課長 非常勤

任期：2年（平成30年6月29日から令和2年6月開催の評議員会の終結の時まで）

#### 【監事】

監 事	氏 名	備 考
監 事	大橋 英男	君津市建設部長 非常勤
監 事	庄司 末光	公認会計士 非常勤

任期：4年（平成28年6月7日から令和2年6月開催の評議員会の終結の時まで）

【職員の状況】

令和2年3月31日現在 (単位:人)

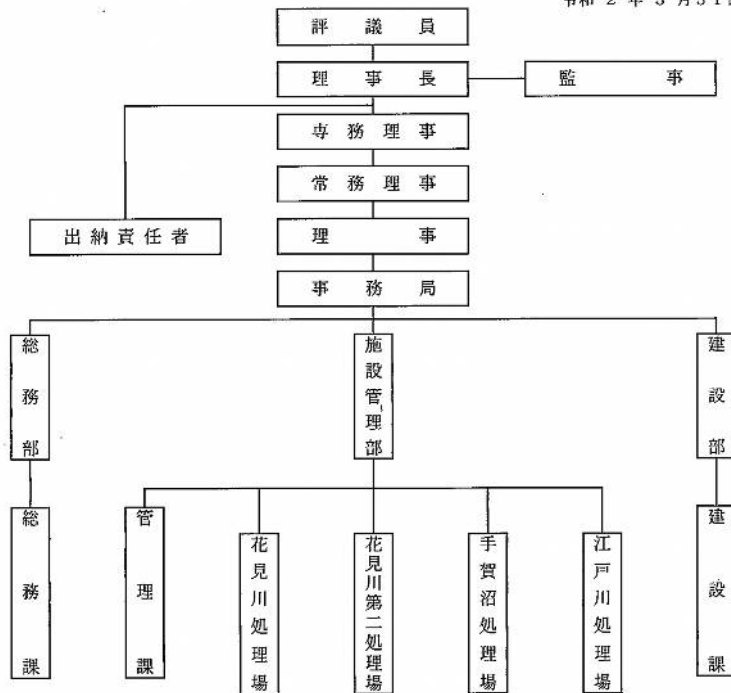
所 属	千葉県からの派遣	プロパー	計
総務部			
部長 ※			
総務課	1	6	7
計	1	6	7
施設管理部			
部長		1	1
管理課		3	3
花見川処理場		7	7
花見川第二処理場		4	4
手賀沼処理場		6	6
江戸川処理場		10	10
計		31	31
建設部			
部長		1	1
建設課	1	8	9
計	1	9	10
合計	2	46	48

※ 専務理事兼務

プロパー職員数に嘱託職員(6人)を含む。

【組織図】

令和2年3月31日現在



決算報告書  
(財務諸表)

### 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,195,254,950	1,179,162,192	16,092,758
未収金	167,767,804	1,055,000,640	△ 887,232,836
前払金	91,307	453,936	△ 362,629
未成工事支出金	303,461,609	1,198,530,532	△ 895,068,923
流動資産合計	1,666,575,670	3,433,147,300	△ 1,766,571,630
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産普通預金	7,017,208	7,025,605	△ 8,397
基本財産投資有価証券	359,982,792	359,974,395	8,397
基本財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	334,576,957	329,625,162	4,951,795
調査研究事業積立資産	12,105,000	12,105,000	0
普及啓発事業積立資産	400,000,000	400,000,000	0
啓発施設積立資産	264,154,719	264,154,719	0
災害支援積立資産	40,000,000	40,000,000	0
研修支援積立資産	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	1,060,836,676	1,055,884,881	4,951,795
(3) その他固定資産			
工具器具備品	946,300	946,300	0
工具器具備品減価償却累計額	△ 946,298	△ 946,298	0
電話加入権	859,200	859,200	0
長期貸付金	0	191,936	△ 191,936
その他固定資産合計	859,202	1,051,138	△ 191,936
固定資産合計	1,428,695,878	1,423,936,019	4,759,859
資産合計	3,095,271,548	4,857,083,319	△ 1,761,811,771
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	730,590,274	1,597,540,767	△ 866,950,493
前受金	297,600,000	1,218,169,040	△ 920,569,040
預り金	279,910,982	274,289,728	5,621,254
賞与引当金	32,002,290	31,760,834	241,456
流動負債合計	1,340,103,546	3,121,760,369	△ 1,781,656,823
2. 固定負債			
退職給付引当金	334,576,957	329,625,162	4,951,795
固定負債合計	334,576,957	329,625,162	4,951,795
負債合計	1,674,680,503	3,451,385,531	△ 1,776,705,028
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産合計	367,000,000	367,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(367,000,000)	(367,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	1,053,591,045	1,038,697,788	14,893,257
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(726,259,719)	(726,259,719)	0
正味財産合計	1,420,591,045	1,405,697,788	14,893,257
負債及び正味財産合計	3,095,271,548	4,857,083,319	△ 1,761,811,771

### 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,554,797	3,128,913	△ 574,116
②特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,007	996	11
③事業収益			
下水道知識普及啓発事業収益	889,000	864,000	25,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	75,404,856	93,945,247	△ 18,540,391
花見川第二処理場管理受託事業収益	55,319,789	61,155,904	△ 5,836,115
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	85,967,773	83,688,704	2,279,069
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,375,536,419	2,333,552,850	41,983,569
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,762,515	1,197,883	2,564,632
下水処理水再利用管理受託事業収益	64,511,088	62,857,755	1,653,333
花見川処理水再利用事業収益	73,400,702	71,825,488	1,575,214
公共下水道設計業務受託事業収益	148,621,216	211,574,081	△ 62,952,865
公共下水道設計積算業務受託事業収益	12,617,008	5,629,629	6,987,377
公共下水道建設工事受託事業収益	3,173,397,540	1,982,590,013	1,190,807,527
公共下水道施工監理受託事業収益	21,661,111	5,935,185	15,725,926
事業収益計	6,091,089,015	4,914,816,739	1,176,272,276
④雑収益			
受取利息	2,014	1,992	22
雑収益	5,678	8,225	△ 2,547
雑収益計	7,692	10,217	△ 2,525
経常収益計	6,093,652,511	4,917,956,865	1,175,695,646
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	21,011,295	20,575,149	436,146
報酬	1,423,186	1,396,030	27,156

(2)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
給料	187,394,650	173,687,482	13,707,168
諸手当	110,937,232	102,485,967	8,451,265
法定福利費	55,059,121	51,393,276	3,665,845
退職給付費用	22,588,009	35,708,160	△ 13,120,151
賞金	4,503,459	4,166,967	336,492
旅費	1,531,670	1,712,905	△ 181,235
厚生費	1,733,381	1,620,263	113,118
会議費	150,703	190,058	△ 39,355
消耗品費	659,084,648	627,439,530	31,645,118
燃料費	2,247,959	2,294,759	△ 46,800
印刷製本費	2,651,711	2,555,679	96,032
光熱水費	198,200	251,200	△ 53,000
通信運搬費	3,561,892	3,320,793	241,099
手数料	629,027	562,979	66,048
貸借料	14,404,268	13,993,802	410,466
修繕費	441,179,500	467,023,538	△ 25,844,038
備品費	6,096,100	9,139,848	△ 3,043,748
保険料	257,360	255,960	1,400
交際費	0	14,579	△ 14,579
諸税公課費	3,505,264	4,888,688	△ 1,383,424
広告費	408,530	706,277	△ 297,747
諸謝金	204,753	185,153	19,600
支払負担金	4,997,766	2,269,100	2,728,666
委託料	1,353,265,151	1,381,972,817	△ 28,707,666
工事費	3,053,196,600	1,891,934,351	1,161,262,239
施設管理費	73,400,702	71,825,488	1,575,214
支払寄付金	24,118	23,618	500
賞与引当金繰入額	31,103,889	30,795,293	308,596
雑費	80,790	78,692	2,098
事業費計	6,056,830,934	4,904,468,411	1,152,362,523
②管理費			
役員報酬	5,124,705	5,560,851	△ 436,146
報酬	347,118	377,305	△ 30,187
給料	4,898,000	5,314,046	△ 416,046
諸手当	3,668,378	4,111,391	△ 443,013
法定福利費	2,435,877	2,536,595	△ 100,718
退職給付費用	499,412	715,325	△ 215,913
賞金	400,941	434,893	△ 33,952

13

(3)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
旅費	70,239	87,239	△ 17,000
厚生費	420,334	435,602	△ 15,268
会議費	36,756	51,366	△ 14,610
消耗品費	929,427	889,990	29,437
燃料費	22,325	24,188	△ 1,863
印刷製本費	11,529	24,851	△ 13,322
通信運搬費	279,180	242,818	36,362
手数料	70,941	61,994	8,947
貸借料	995,114	1,133,002	△ 137,888
修繕費	0	71,766	△ 71,766
備品費	0	13,191	△ 13,191
交際費	0	3,940	△ 3,940
諸税公課費	2,745	851	1,894
広告費	26,470	28,723	△ 2,253
諸謝金	49,939	50,041	△ 102
支払負担金	313,335	356,476	△ 43,141
委託料	411,422	429,894	△ 18,472
支払寄付金	5,882	6,382	△ 500
賞与引当金繰入額	898,401	965,541	△ 67,140
雑費	9,850	10,348	△ 498
管理費計	21,928,320	23,948,609	△ 2,020,289
経常費用計	6,078,759,254	4,928,417,020	1,150,342,234
当期経常増減額	14,893,257	△ 10,460,155	25,353,412
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,893,257	△ 10,460,155	25,353,412
一般正味財産期首残高	1,038,697,788	1,049,157,943	△ 10,460,155
一般正味財産期末残高	1,053,591,045	1,038,697,788	14,893,257

14

(4)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,554,797	3,128,913	△ 574,116
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 2,554,797	△ 3,128,913	574,116
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000	367,000,000	0
指定正味財産期末残高	367,000,000	367,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,420,591,045	1,405,697,788	14,893,257

## 正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,554,797			2,554,797
②特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,007			1,007
③事業収益				
下水道知識普及啓蒙事業収益	889,000			889,000
印旛沼流域下水道管理受託事業収益	75,404,856			75,404,856
花見川第二処理場管理受託事業収益	55,319,789			55,319,789
手賀沼流域下水道管理受託事業収益	85,967,773			85,967,773
江戸川流域下水道管理受託事業収益	2,375,536,419			2,375,536,419
再生水利用下水道管理受託事業収益	3,762,515			3,762,515
下水処理水再利用管理受託事業収益	64,511,088			64,511,088
花見川処理水再利用事業収益	73,400,702			73,400,702
公共下水道設計積算業務受託事業収益	148,621,216			148,621,216
公共下水道設計積算業務受託事業収益	12,617,006			12,617,006
公共下水道建設工事受託事業収益	3,151,469,220	21,928,320		3,173,397,540
公共下水道施工監理受託事業収益	21,661,111			21,661,111
事業収益計	6,069,160,695	21,928,320	0	6,091,089,015
④雑収益				
受取利息	2,014			2,014
雑収益	5,678			5,678
雑収益計	7,692	0	0	7,692
経常収益計	6,071,724,191	21,928,320	0	6,098,652,511
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	21,011,295			21,011,295
報酬	1,423,186			1,423,186
給料	187,394,650			187,394,650
諸手当	110,937,232			110,937,232

(2)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
法定福利費	55,059,121			55,059,121
退職給付費用	22,588,009			22,588,009
貸金	4,503,459			4,503,459
旅費	1,531,670			1,531,670
厚生費	1,733,381			1,733,381
会議費	150,703			150,703
消耗品費	659,084,648			659,084,648
燃料費	2,247,959			2,247,959
印刷製本費	2,651,711			2,651,711
光熱水費	198,200			198,200
通信運搬費	3,561,892			3,561,892
手数料	629,027			629,027
貸借料	14,404,268			14,404,268
修繕費	441,179,500			441,179,500
備品費	6,096,100			6,096,100
保険料	257,360			257,360
交際費	0			0
諸税公課費	3,505,264			3,505,264
広告費	408,530			408,530
諸謝金	204,753			204,753
支払負担金	4,997,766			4,997,766
委託料	1,353,265,151			1,353,265,151
工事費	3,053,196,600			3,053,196,600
施設管理費	73,400,702			73,400,702
支払寄付金	24,118			24,118
賞与引当金繰入額	31,103,889			31,103,889
雑費	80,790			80,790
事業費計	6,056,830,934	0	0	6,056,830,934
②管理費				
役員報酬		5,124,705		5,124,705
報酬		347,118		347,118
給料		4,898,000		4,898,000
諸手当		3,668,378		3,668,378
法定福利費		2,435,877		2,435,877
退職給付費用		499,412		499,412
貸金		400,941		400,941
旅費		70,239		70,239
厚生費		420,334		420,334
会議費		36,756		36,756
消耗品費		929,427		929,427

17

(3)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
燃料費		22,325		22,325
印刷製本費		11,529		11,529
通信運搬費		279,180		279,180
手数料		70,941		70,941
貸借料		995,114		995,114
修繕費		0		0
備品費		0		0
交際費		0		0
諸税公課費		2,745		2,745
広告費		26,470		26,470
諸謝金		49,939		49,939
支払負担金		313,335		313,335
委託料		411,422		411,422
支払寄付金		5,882		5,882
賞与引当金繰入額		898,401		898,401
雑費		9,850		9,850
管理費計	0	21,928,320	0	21,928,320
経常費用計	6,056,830,934	21,928,320	0	6,078,759,254
当期経常増減額	14,893,257	0	0	14,893,257
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,893,257	0	0	14,893,257
一般正味財産期首残高	1,038,697,788	0	0	1,038,697,788
一般正味財産期末残高	1,053,591,045	0	0	1,053,591,045
II 指定正味財産増減の部				
①基本財産運用益				
基本財産受取利息	2,554,797	0		2,554,797
②一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	△ 2,554,797	0		△ 2,554,797
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	367,000,000	0	0	367,000,000
指定正味財産期末残高	367,000,000	0	0	367,000,000
III 正味財産期末残高	1,420,591,045	0	0	1,420,591,045

18

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
無形固定資産・・・定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
ア. 賞与引当金・・・職員に対する賞与(期末勤勉手当)の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に負担すべき見積額を計上している。  
イ. 退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
基本財産普通預金	7,025,605		8,397	7,017,208
基本財産投資有価証券	359,974,395	8,397		359,982,792
小計	367,000,000	8,397	8,397	367,000,000
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	329,625,162	20,757,421	15,805,626	334,576,957
調査研究事業積立資産	12,105,000			12,105,000
普及啓発事業積立資産	400,000,000			400,000,000
啓発施設積立資産	264,154,719			264,154,719
災害支援積立資産	40,000,000			40,000,000
研修支援積立資産	10,000,000			10,000,000
小計	1,055,884,881	20,757,421	15,805,626	1,060,836,676
合計	1,422,884,881	20,765,818	15,814,023	1,427,836,676

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
<b>基本財産</b>				
基本財産普通預金	7,017,208	(7,017,208)	-	-
基本財産投資有価証券	359,982,792	(359,982,792)	-	-
小計	367,000,000	(367,000,000)	-	-
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	334,576,957	-	-	(334,576,957)
調査研究事業積立資産	12,105,000	-	(12,105,000)	-
普及啓発事業積立資産	400,000,000	-	(400,000,000)	-
啓発施設積立資産	264,154,719	-	(264,154,719)	-
災害支援積立資産	40,000,000	-	(40,000,000)	-
研修支援積立資産	10,000,000	-	(10,000,000)	-
小計	1,060,836,676	-	(726,259,719)	(334,576,957)
合計	1,427,836,676	(367,000,000)	(726,259,719)	(334,576,957)

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
千葉県公債			
平成22年度第7回(10年)	39,999,544	40,208,800	209,256
平成23年度第4回(10年)	39,997,029	40,654,400	657,371
平成24年度第9回(10年)	39,994,186	40,942,400	948,214
平成25年度第12回(10年)	39,992,033	41,000,000	1,007,967
平成26年度第4回(10年)	40,000,000	40,960,000	960,000
平成27年度第4回(10年)	40,000,000	41,217,200	1,217,200
平成28年度第6回(10年)	40,000,000	40,355,200	355,200
平成30年度第5回(10年)	40,000,000	40,478,800	478,800
令和元年度第5回(10年)	40,000,000	40,166,400	166,400
合計	359,982,792	365,983,200	6,000,408

### 5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息への振替額	2,554,797
合計	2,554,797

### 6. その他

#### ○ 退職給付関係

#### (1) 採用している退職給付制度の概要

職員退職手当支給規程に基づく退職一時金制度、中小企業退職金共済制度と閉鎖型確定給付年金制度を採用している。

#### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)	
①退職給付債務	427,893,897
②中小企業退職金共済からの支給見込額	93,316,940
③退職給付引当金(①-②)	334,576,957

#### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)	
① 退職給付費用(勤務費用)	23,087,421

#### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度の退職金支給見込額を除いた額を退職給付引当金として計上している。

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」の「2. 特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	31,760,834	32,002,290	31,760,834	0	32,002,290
退職給付引当金	329,625,162	20,757,421	15,805,626	0	334,576,957

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金 千葉銀行本店営業部 千葉興業銀行本店営業部 京葉銀行本店営業部	運転資金として	1,115,848,569 59,388,622 17,759
	定期預金 千葉銀行本店営業部 京葉銀行本店営業部		10,000,000 10,000,000
未収金	受託市町村等	公益目的事業に係る受託収益等	167,767,804
前払金	労働保険料	令和2年度分	91,307
未成工事支出金		繰越工事の支出済工事費	303,461,609
	流動資産合計		1,666,576,670
(固定資産)			
基本財産	現金預金	普通預金 千葉銀行本店営業部	7,017,208
	投資有価証券	千葉県公債(10年)9口	359,982,792
		(基本財産計)	367,000,000
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 千葉興業銀行本店営業部	324,576,957
		定期預金 千葉興業銀行本店営業部	10,000,000
	調査研究事業積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	12,105,000
	普及啓発事業積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	400,000,000
	啓発施設積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	264,154,719
	災害支援積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	40,000,000
	研修参加支援積立資産	普通預金 千葉銀行本店営業部	10,000,000
その他固定資産	工具器具備品	金属板他 (工具器具備品減価却累計額)	946,300 △ 946,298
	電話加入権		859,200
	固定資産合計		1,428,696,878
	資産合計		3,095,273,548
(流動負債)			
未払金	業者に対する未払金	公益目的事業に係る未払金	730,590,274
前受金	未成工事費 市川市他	公益目的事業に係る前受収益	297,600,000
預り金	受託料精算残金	公益目的事業の精算残金	279,910,982
賞与引当金	職員賞与当年度負担見込額	公益目的事業担当職員への賞与引当金	32,002,290
	流動負債合計		1,340,103,546
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対する退職債務		334,576,957
	固定負債合計		334,576,957
	負債合計		1,674,680,503
	正味財産		1,420,593,045